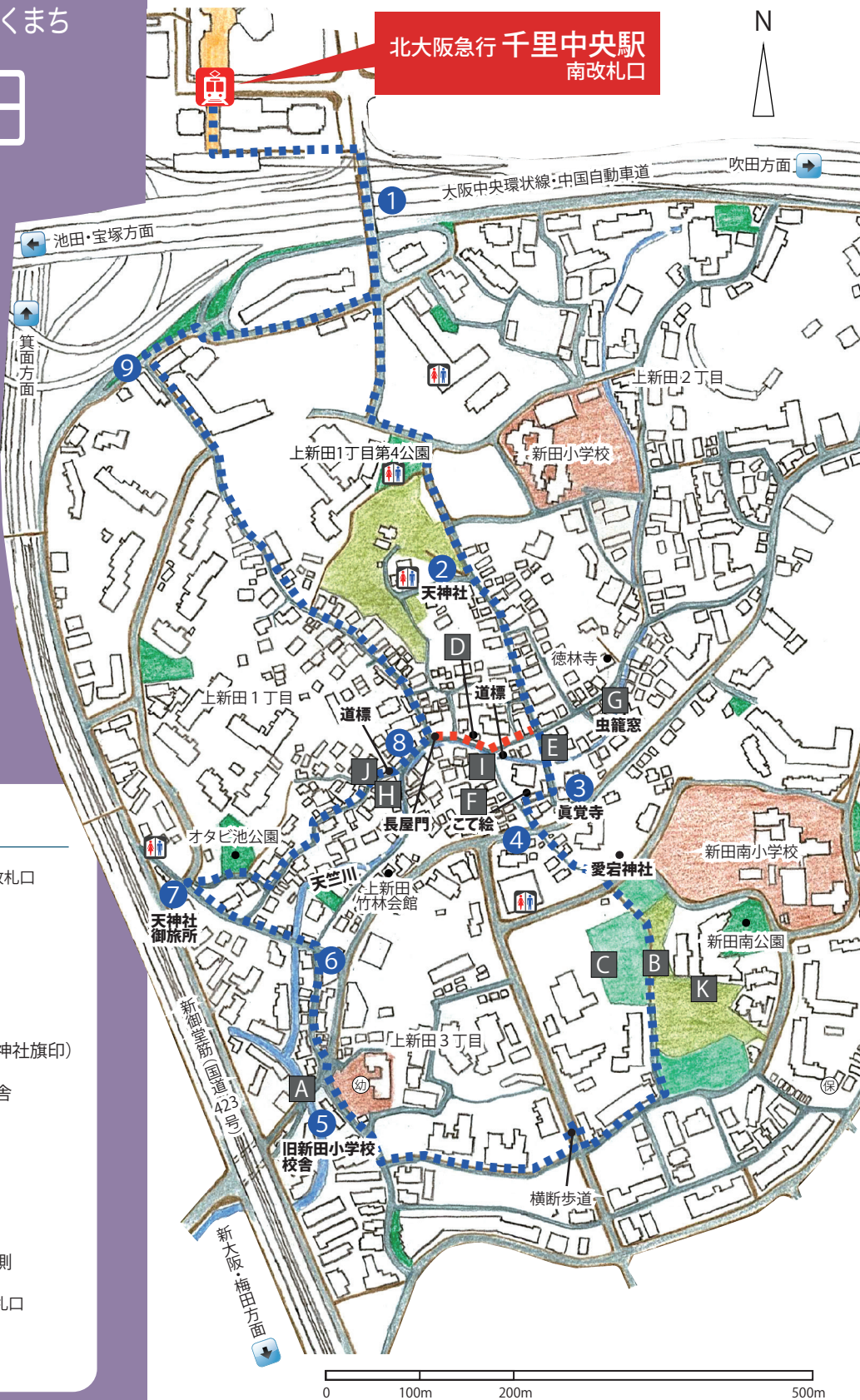


上新田

千里中央から南へ。歩道橋を渡ると、そこは千里のふるさと上新田です。実は新田村も江戸時代初めの新田開発によって400年前に生まれたニュータウン。農地や山林のほとんどは千里ニュータウンとなりましたが、村の中心部だった上新田には伝統的な家並みが受け継がれています。



モデルコース

- 千里中央駅 南改札口
 - ↓
 - ① 北新田橋
 - ↓
 - ② 天神社
 - ↓
 - ③ 眞覚寺
 - ↓
 - ④ 横断歩道（愛宕神社旗印）
 - ↓
 - ⑤ 旧新田小学校校舎
 - ↓
 - ⑥ 赤塚橋
 - ↓
 - ⑦ 天神社御旅所
 - ↓
 - ⑧ 上新田案内板
 - ↓
 - ⑨ 千里インター南側
 - ↓
 - 千里中央駅 南改札口
- 合計 約 3.9 km

凡例 トイレ ビューポイント 駅改札口 A~J おすすめポイント P.27,28参照 モデルコース 近道コース



● 千里のふるさとの歴史を訪ねる

新田村は、寛永3年(1626年)に山田村の新田開発により幕府直轄領として生まれ、淀藩領として明治維新を迎えました。当時、村域の大半が丘陵地で、谷筋を使って上質の米を産出し、果樹やタケノコ栽培を営んでいました。現在、農地や山林はほとんど残っていませんが、400年の歴史をつなぐ村の姿は、今なお残されています。



● 受け継がれてきた文化を見る



民家の妻壁の家紋、つし2階(※)の虫籠窓むしこまど、倉庫や保管庫として建てられた土蔵の鏝絵こてえ。上新田天神社や眞覚寺で催される数々の伝統行事など、上新田では、今も昔ながらの暮らしの文化を感じることができます。(左:写真-7) (※)中2階



● かつおじ 勝尾寺街道を歩く

西国三十三番札所でもある箕面の古刹・勝尾寺。その参詣でかつてにぎわいを見せていたのが、上新田の中央部から新千里東町へと北上していた勝尾寺街道です。[P.47参照](#)
 上新田では地域の人たちによって、当時の道標が保存され、いにしえの街道の姿をとどめています。



千里おもしろ話

● 上新田のタケノコの話 ●

「千里のタケノコは極上品」そんな声があちこちから聞かれるくらい、やわらかいタケノコがたくさん採れました。上新田でも、最盛期は早朝から総出で収穫していたそうです。生のタケノコを出荷した後は水煮の缶詰づくりが行われていましたが、ニュータウン造成で竹林が減少し、缶詰工場は昭和とともに姿を消しました。



写真-8 最盛期のタケノコ缶詰向上の様子